

■（79）テレビにも新聞を読むヒント

2014. 6. 13

NIEということばが日本に入って間もない1985年頃、新聞教育の実践者は、マスメディアとしての新聞とテレビを比較しながら、どちらが優れているかを真剣に論議したものです。私は新聞の優位性を力説しましたが、もちろんテレビにも良さがああり、新聞とテレビは互いに補い合うもので、優劣を論ずるものではないと、今では考えています。

さて、テレビのある1つのチャンネルを1日中見ていると、ニュースやニュース解説がいかにか少ないかを実感します。ドラマやバラエティー、グルメなどの情報番組があふれているようです。しかし、午前5時台や6時台の早朝の時間帯に限ると、情報番組の中で、何紙かの新聞を並べて掲示し、記事をピックアップしたり、コメンテーターの意見や解説を入れたりしているコーナーがあります。東京でいえば、「ZIP!」（日本テレビ）、「あさチャン」（TBSテレビ）、「めざましテレビ」（フジテレビ）などで、私はよく見えています。テレビ朝日でも、4時55分からの「グッド!モーニング」の「朝刊チェック」（5時5分ごろと6時ごろ）のコーナーと「朝刊チョイス」（5時40分ごろ）、「やじうま新聞」（6時25分ごろ）などで、注目記事や記事の見所を紹介しているので、普段は購読していない新聞を駅売りなどで購入して読む上でとても助かります。普段から購読している新聞であっても、見逃した記事を見つけることができます。

チャンネルによって新聞を使ったコーナーの放送時間帯は異なるので、ザッピング（いくつものチャンネルを頻繁に切り替えながらテレビを見ること）しながら、チェックしていくとよいでしょう。

（鈴木伸男 全国新聞教育研究協議会顧問）